

## 高梁川の現在の川づくり

現在、岡山河川事務所では、堤防の詳細点検を実施し、優先度の高い区間から計画的に①堤体漏水対策を実施しています。

また、災害が起きた場合は、速やかに事実関係を把握し、計画的かつ迅速な対応や対策を行うこととしています。平成18年の災害では②基盤漏水対策を実施し、地域のみなさんの安全・安心確保に努めています。

### ① 堤体漏水対策 位置図①（酒津箇所） ～質的な堤防強化工事を進めています～

#### 岡山三川下流域の干拓に伴う海岸線の変化



河川堤防は、古くから川底や川の近くで採取した土で作られたものが多く、洪水時に堤防に浸透した降雨や河川水により強度が不足する箇所があるため、詳細点検を実施し、安全性を確認しています。

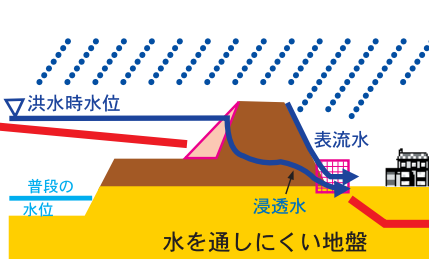
高梁川の詳細点検は、現在7割が完了し、そのうちの約6割が堤防の安全性が不足している結果となっています。

なかでも、酒津地区は、旧東派川跡であり、平成10年10月出水時に表法崩れも発生し、破堤時には倉敷市街地を含む甚大な被害が想定されることから、平成16年度に酒津公園前から着手し、下流に向け対策工事を進めています。

断面拡大完成



#### 酒津箇所の対策工法及び状況写真



ドレーン施工



#### 詳細点検～工事まで

##### 堤防の概略点検

概略点検の結果、安全性の低い箇所から優先的に詳細点検します。

##### 堤防の詳細点検

地質調査や、水理学・土質学的な知見に基づき安全性を照査します。

##### 堤防の対策工法の検討

詳細点検の結果を受け、解消する工法を、経済性、維持管理等を考慮し総合的に検討します。

##### 質的な堤防強化工事

堤防の安全度や被災の有無、破堤した場合の資産などの被害想定を総合的に判断し優先する箇所から順次対策を実施します。

#### 位置図

